

## 会 議 録

会議の名称		令和5年度第1回竹園学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和5年6月9日（金）開会 10:00 閉会 11:50		
開催場所		つくば市立竹園東中学校図書室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	福田博之、松本祐輔、島名勝利、岩村一代、中嶋信美、 今井健之、後藤秀一、浜田博文、長谷川聖修、窪庭隆、 倉田廣之、鈴木敏一、辻武晴、野尻和子 坂入善晴 竹園東中学校：校長 茂在哲司、教頭 渡辺邦広、 教務主任：佐藤彩子 竹園東小学校：校長 皆川正美、教頭 田崎浩美、岡宮敏 教務主任：小松有実 竹園西小学校：校長 柳下英子、副校長 大山英樹、 教頭：永井明子、 教務主任：吉村哲一		
	その他			
	事務局	教育局次長：久保田靖彦 生涯学習推進課長：澤頭由紀子 社会教育主事：渡邊亮太 地域連携教育指導員：小島健 酒井和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		1 学校運営の基本方針について 2 各学校の教育活動の事例の紹介 3 熟議「世界に羽ばたく児童生徒の育成のためにできること」 4 その他		
会議録署名人		確定年月日	年	月 日

会議次第	1	開会
	2	選任通知書交付
	3	挨拶
	4	説明事項 つくば市のコミュニティ・スクール導入について
	5	座長・副座長の選出
	6	協議 コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について
	7	閉会

<審議内容>

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクール導入について (渡邊社会教育主事)

(1) つくば市コミュニティ・スクールの概要

先日の豊里学園の熟議の場の雰囲気は温かく、とても良かった。その理由として、委員が「どのような子供を育てたいのか」という目標を共有していることにあると考えている。

(2) これからの学校と地域について

コロナ禍により、地域の方と語る場が少なくなった昨今、学校は多様な児童生徒や保護者への対応に追われている。また、地域は地域社会の停滞や教育力の低下という懸念があり、課題解決につながる教育改革と地方創生が必要となっており、学校と地域の連携が必要不可欠である。

そうした課題を解決するために、学校がコミュニティ・スクールを導入し、地域学校協働活動を一体的に推進することで「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。

教育大綱「一人ひとりが幸せな人生を送る」にもあるように、社会全体で子どもを育てるためには、学校教育と社会教育の目標やビジョンの共有が必要であり、一体的に推進するためにコミュニティ・スクールが役割を果たす。つくば市は学園単位で進めている。

(3) コミュニティ・スクールとは

学校、保護者、地域 (PTA、家庭教育学級、地域学校協働活動、子育て支援) など学校を核として、「人づくり」「地域づくり」を生み出せるツールがコミュニティ・スクールである。

コミュニティ・スクールには、

- ① 校長作成の学校運営の基本方針の承認に関すること
- ② 教育委員会または校長に対する学校運営に関する意見
- ③ 教職員の任用に関すること
- ④ 学園等の運営状況の評価に関すること

という役割があり、自転車に例えるなら、「前輪＝学校運営協議会 後輪＝地域学校協働活動」である。そのためにコミュニティ・スクールが備える3つの

機能として、「熟議」、「協働」、「マネジメント」がある。

コミュニティ・スクールを運営していくことで、大事なことは「学校理解」、「地域理解」である。そのために、教育課程をコミュニティ・スクールというフィルターを通して、地域・学校・家庭を関連付けていく。既成のものをベースに行うこと、新しいことはやらなくても良いという意識で進めることが必要である。

(意見や質問) →協議に時間を割くため、質疑は省略

## 5 座長・副座長の選出

座長→鈴木敏一委員

副座長→後藤秀一委員 松本祐輔委員

## 6 協議

### (1) 学校運営の基本方針について

#### ①学園グランドデザイン

竹園の子供たちをどのように育てていくのかについて、学園グランドデザインにまとめた。目標は「竹園から世界に羽ばたく児童生徒の育成」とし、具体的な姿として「自ら学び続ける」、「心豊かにかかわりあう」、「やり遂げることができる」という3つの姿の育成を目指していく。この3つをつなぐのは社会力の育成である。予測困難な昨今において、社会力の育成が急務である。チャット GPT の例を見ても、我々教員の役割を鑑みる必要がある。知識を授けるのではなく、知恵をどのように活用するのかを支援することが新たな役割になるのではないかと考える。そのため、竹園スタイルの学びにあるように、クリティカルな思考を促しながら主体的・協働的、創造的な学びを実現できるようにしていくことが必要である。授業においてそれらを意識して取り組んでいるが、コミュニティ・スクールを導入することで、地域の力で補完しながら実現していきたい。

働き方についても改革を進めているところであるが、部活動の地域移行の例を見ても、地域の力は必要不可欠である。

#### ②竹園東小グランドデザイン

目標は「未来をひらき、国際社会で活躍できる児童の育成」であり、「自ら学び続ける」、「心豊かにかかわりあう」、「やり遂げる」児童を育成するため、4つのプロジェクトを設置している。

全国学力・学習状況調査の結果から、人とかかわることに課題があることが明らかになっているので、人とかかわりあう学年・学級づくり、学校に行くことが楽しみといえる学校づくりを進めている。

#### ③竹園西小グランドデザイン

グランドデザインの作成は本校の課題をよく知ることから始めた。課題は学校評価アンケートを根拠にして作成した。

本校のよさ

○授業力が高い（教員）

○学校が楽しい ○学校の勉強は分かる（児童）

本校の課題

△休み時間に体を動かす（児童）

△自分の考えを相手に伝える（児童）

△クリティカルな思考を促す授業展開（教員）

△地域の資源を活用している（教員）

△勤務時間が減少している（教員）

以上の結果が明らかになった。

その中で、働き方改革が今年度の一番のポイントと捉えている。コロナでオンライン授業が行われるようになり、データでのやり取りが可能となった。それは一見、「学校に行かなくてもタブレットがあれば楽しく学べる。」という考えになりそうだが、「一人で家庭で学ぶこともできるが、長続きしない」、「一人でいるとだんだん不安になる」といった子供の声も多い。また、教員にとっては、コロナ禍の対応、コロナ解除による対応によって、ますます勤務時間が増加している。したがって、今までどおりのグランドデザインのようなバランスも大切だが、教員が働きがいをもてるよう焦点化を図ることが大切であると考え、グランドデザインを竹園スタイルの学びに特化させることにした。

地域の方をお願いしたいのは 学校の応援団になってほしいということである。

#### ④竹園東中グランドデザイン

「太陽への船出」は、竹園東中 50 年のシンボルであり、教育目標である「国際社会に貢献できる人間力を育む教育の創造」を表している。

目指す生徒像は、「主体的に学び続ける」、「思いやり」、「主体的に行動できる」生徒であり、自主性ではなく、主体性を身に付けてもらいたい。

しかし、小学校同様、人と心豊かにかかわることに課題が見られる。また、職員の超過勤務など、ワークライフバランスも考えることが必要である。

#### (2) 各学校の教育活動の事例の紹介

竹園学園の児童生徒数は、2134 名で、つくば市の中でも、大規模な学園となっている。竹園学園の児童生徒は、知識も豊富で学習に対しても前向きに取り組む様子が多くみられる。しかし、近年では、少子化、核家族化が進行し、子供同士が集団で遊びに熱中し、時には葛藤しながら互いに影響し合って活動する機会が減少するなど、様々な経験の機会が失われている。こうした現状から、学校だけでなく、家庭や地域社会との交流や支え合いが重要と考えている。

竹園学園では、9 年間の連続した学びを実現するため、行事や学習などに合同で取り組んでいる。学園合同の引き渡し訓練では、大災害に備え、3 校以外に地域の幼稚園とも連携して、兄弟姉妹の引き渡しがスムーズに行えるように訓練を実施している。

さわやかマナーアップ運動では、3 校の代表児童生徒と保護者、教員がそれぞれ

れの学校に赴き、挨拶運動をしている。中学生は小学生の手本となるよう、小学生は中学生を手本として、活発な挨拶をしている。

「届けよう、服のチカラプロジェクト」という、ユニクロなどを運営するファーストリテイリングが取り組んでいるプロジェクトに参加し、地域に出向いて、着なくなった子ども服を回収する活動では、竹園東中の7年生が主体となり、本校だけでなく、小学校や幼稚園においても呼びかけたり回収に行ったりといった活動を行った。

このように竹園学園では、子供たち同士が実際に交流することによって、竹園スタイルという9年間の連続した学びを実現できるようにしている。

また、竹園東中学校では、昨年度は8月から11月の間、筑波大学や地域の人的資源を活用して、休日の部活動の地域移行を見据えた活動を実践した。市教委の指導助言を受けながら、筑波大学・JTBと連携し、「部活動支援事業トライアル」として取り組んでいる。

職員同士も学園3校の職員が研究テーマを共有し研修を行っている。利点としては、小学校の教員にとって、9年間で育成する児童生徒のゴールを見据えることができる点、中学校の教員にとっては生徒が育ってきた土台を知ることができる点が挙げられる。学校保健委員会も共同で開催し、児童生徒の健康や体力の向上について共通の課題について話し合いを行った。

(質疑応答)

各校のグランドデザインに賛同 →全員拍手

(3) 熟議 「世界に羽ばたく児童生徒の育成のためにできること」

- ・各グループでの熟議 30 分間
- ・グループごとの発表

①A班

人と人とのかかわりが薄いという課題が共通して出た。

地域による防災、減災の意識が大切である。学校が保護者の顔を分らない保護者同士の交流もないという現状がある。共働き家庭の対応も必要であり「家同士 人同士の交流が必要である」と考えた。

②B班

子供たちの現状は、知識が豊富、ICTが得意、家庭環境がよくバックアップが素晴らしいという長所がある一方、コミュニケーション不足という課題も明らかになっているので、コミュニケーションのスキルを学ぶことが大切だと考える。例えば、学校において、みんなで一緒にやり遂げる場を設定することなどが、コミュニケーション力の育成になるのではないかと考える。また、地域においても、声のかけづらい雰囲気を払しょくするために、学校からの情報発信が大切なのではないかと考える。さらに、PTAの行事参加など、みんなでコミュニケーションをとっていくような場も必要なのではと考える。

③ C班

児童生徒の実態として、あいさつ、優しい、いじめがない、縦のつながりができており、学校が楽しいと考えている児童生徒が多いということが挙げられる。

一方、習い事をしている子供が多く、子供たち同士の交流が少ない、我慢する・耐える力が少ないなどの課題が考えられる。コロナなどの影響によって体験活動も減少しており、体験や交流活動を増やし、子供が自己決定し体験する場をつくる必要があるのではないかと考える。保護者においても、横のつながりが減っており、祭りなどのコミュニケーションの場も減少しているので、ますます学校からの情報発信が必要であり、そこをスタートとして相互に交流していければと考える。

#### ④ D班

課題としては、あいさつができない、言語化することが苦手でコミュニケーション能力低いことが挙げられる。一方、知識が豊富で勉強に対する関心が高いという長所がある。今後の提案として、大人からあいさつすること、地域ぐるみであいさつしていくことがよいのではないかと考える。そして、家庭では、親子での時間を大切にし、親は子供の話を聞くようにすることが大切で、地域では、自治会と学校との交流が必要であると考え。そのためにも学校からの発信は大切であると考え。

#### 【質疑応答】

(中島委員より)

・学校だよりを回覧板に入れるのがいいのではないか。

(倉田委員より)

・自治会の課題として、区長が半年で切り替わる実態があるので、継続して活動することが難しいことがある。

(後藤委員より)

・区会はあるが外との交流がないので、回覧を回すような取り組みは学校の情報を得る良い手段ではないか。

新しい住居も増えているので発信することは必要だと感じる。

#### (4) その他

次回のコミュニティ・スクール推進会議は令和5年10月16日(月)10時から、会場は竹園東小学校を予定しています。第3回は、令和6年2月14日(水)の10時から会場は竹園西小学校になります。

#### 7 閉会

本日の協議の内容は以上になります。なお本日の会議の様子や写真について、つくば市ホームページへの掲載を予定しています。

令和5年度 第1回竹園学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和5年6月9日（金）

10：00～

場所：竹園東中学校 図書室

次 第

1 開 会

2 選任通知書交付

3 挨拶

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクール導入について

5 座長・副座長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 各学校の教育活動の事例の紹介

(3) 熟議「世界に羽ばたく児童生徒の育成のためにできること」

(4) その他

・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について

7 閉 会

令和5年度 竹園学園コミュニティ・スクール推進会議  
(第1回：6月9日 金曜日) 名簿

番号	役割の区分	氏名	よみがな	所属・役職	出欠席
1	(1) 児童・生徒の保護者	福田 博之	ふくだ ひろゆき	竹園東中学校PTA共同代表	出席
2	(1) 児童・生徒の保護者	松本 祐輔	まつもと ゆうすけ	竹園こどもまつり実行委員長	出席
3	(1) 児童・生徒の保護者	福田 幸寛	ふくだ ゆきひろ	竹園東小PTA会長	欠席
4	(1) 児童・生徒の保護者	島名 勝利	しまな かつとし	竹園西小学校PTA共同代表	出席
5	(2) 地域住民	岡本 智周	おかもと ともちか	R4竹園東中学校評議員	欠席
6	(2) 地域住民	岩村 一代	いわむら かずよ	R4竹園東中学校評議員	出席
7	(2) 地域住民	中嶋 信美	なかじま のぶよし	元竹園東小PTA会長 元竹園東中PTA会長 R4竹園東中学校評議員 地域学校協働活動推進員	出席
8	(2) 地域住民	今井 健之	いまい けんし	防災士(茨城県防災士協会)	出席
9	(2) 地域住民	後藤 秀一	ごとう しゅういち	R4竹園西小学校評議員 地域学校協働活動推進員	出席
10	(3) 各学校長・教職員	茂在 哲司	もざい てつじ	竹園東中学校長	出席
11	(3) 各学校長・教職員	渡辺 邦広	わたなべ くにひろ	竹園東中学校教頭	出席
12	(3) 各学校長・教職員	佐藤 彩子	さとう あやこ	竹園東中学校教務主任	出席
13	(3) 各学校長・教職員	皆川 正美	みなかわ まさみ	竹園東小学校長	出席
14	(3) 各学校長・教職員	田崎 浩美	たさき ひろみ	竹園東小学校教頭	出席
15	(3) 各学校長・教職員	岡宮 敏	おかみや さとし	竹園東小学校教頭	出席
16	(3) 各学校長・教職員	小松 有実	こまつ ゆみ	竹園東小学校教務主任	出席
17	(3) 各学校長・教職員	柳下 英子	やぎした ひでこ	竹園西小学校長	出席
18	(3) 各学校長・教職員	大山 英樹	おおやま ひでき	竹園西小学校副校長	出席
19	(3) 各学校長・教職員	永井 明子	ながい あきこ	竹園西小学校教頭	出席
20	(3) 各学校長・教職員	吉村 哲一	よしむら のりかず	竹園西小学校教務主任	出席
21	(4) 学識経験者	稲垣 和希	いながき かずき	筑波大学「フレックサブル・ホーメント」	欠席
22	(4) 学識経験者	浜田 博文	はまだ ひろふみ	筑波大学教授	出席
23	(4) 学識経験者	長谷川 聖修	はせがわ きよなお	筑波大学体育系 名誉教授	出席
24	(5) 関係行政機関の職員	坂入 善晴	さかいり よしはる	竹園東児童館長	出席
25	(5) 関係行政機関の職員	窪庭 隆	くぼにわ たかし	竹園西児童館長 R4竹園西小学校評議員	出席
26	(6) 教育委員会が適当と認める者	倉田 廣之	くらた ひろゆき	つくば市教育長職務代理者 地域学校協働活動推進員	出席
27	(6) 教育委員会が適当と認める者	鈴木 敏一	すずき としいち	元大曾根小学校長 竹園東幼稚園長	出席
28	(6) 教育委員会が適当と認める者	辻 武晴	つじ たけはる	竹園高等学校長	出席
29	(6) 教育委員会が適当と認める者	野尻 和子	のじり かずこ	竹園西幼稚園長 R4竹園西小学校評議員	出席

※敬称略



※座席表は、そのまま熟議のグループ割り振りになります。

副座長	座長	副座長
-----	----	-----

モニター
PC

後藤委員	茂在委員
長谷川委員	野尻委員
田崎委員	吉村委員

倉田委員	皆川委員
窪庭委員	福田委員
辻委員	永井委員

渡辺委員 (全体統括)
佐藤委員 (記録者)

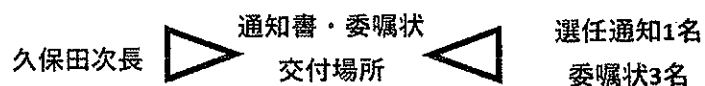
浜田委員	柳下委員
鈴木委員	坂入委員
島名委員	岡宮委員

今井委員	大山委員
中嶋委員	岩村委員
松本委員	小松委員

傍聴席

教育次長

生涯学習  
推進課長



【欠席者】 福田幸寛 竹園東小PTA会長  
岡本智周 R4 竹園東中学校評議員  
稲垣和希 筑波大AD

入口



竹園学園3校のあゆみ

竹園東小学校 <学級数(普22・特支7) 男378 女352 計730>	
S49.4 竹園東小学校開校(研究学園都市初の小学校)	H22.8 NHK学校音楽コンクール「金賞」受賞
S51.4 文部省指定帰国子女教育協力校	H22.9 全日本小学校ホームページ大賞「茨城県最優秀賞」受賞
S52.2 CAI/ATシステム導入による情報教育開始(日本で初めて学習にコンピュータ導入)	H22.12 文部科学副大臣主催「学校の情報化に関する懇談会」授業公開
S60.6 全国教育システム工学研究会つくば大会授業公開	H23.4 新校舎6教室増築、太陽光パネル設置 言語教育振興財団研究指定校
H10.4 難聴学級「すずらん学級」設置	H23.8 TBS こども音楽コンクール「最優秀賞」受賞
H10.8 NHK学校音楽コンクール「銀賞」受賞 以後14年連続入賞	H23.9 つくば市・筑波大学・インテル社地域連携事業モデル校指定
H11.4 文部科学省「先進的ネットワークモデル地域事業」指定校(～H15)、英語活動(1～6年生)開始	H23.11 小中一貫教育研究つくば市大会研究指定校
H11.10 市教育委員会「総合的な学習の時間」研究発表会	H24.11 つくば市教育委員会指定小中一貫教育研究推進校発表会
H13.4 小中連携教育開始	H25.11 第8回小中一貫教育全国サミットin つくば授業公開校
H13.8 TBSこども音楽コンクール最優秀賞東日本優秀演奏会出場(H15,19～21,23)	H26.8 NHK学校音楽コンクール「金賞」受賞 関東甲信越コンクール銅賞 TBSこども音楽コンクール「最優秀賞」受賞
H14.4 5,6年生教科担任制導入	H26.4 文部科学省調査研究事業「校評価の強化・充実に向けた実践研究」 第28回関東甲信越地区中学校理科教育研究会授業公開
H15.1 松下視聴覚財団「理事長賞」受賞	H26.11 21世紀の学びを変える ICT を活用した小中一貫教育研究大会授業公開
H16.4 優れた読書活動の実践に対する「文部科学大臣賞」受賞	H28.5 G7科学技術大臣会合 in つくば メディア向け授業公開校
H17.10 第21回時事通信社教育奨励賞「優秀賞」/「文部科学大臣賞」受賞	H28.8 NHK学校音楽コンクール「金賞」受賞 TBSこども音楽コンクール「最優秀賞」受賞
竹東幼・竹保との幼保小連携教育開始	H29.8 TBS こども音楽コンクール「最優秀賞」受賞
H21. 小中一貫教育開始、言語教育振興財団研究指定校	H29.10 茨城県児童生徒科学作品展「げんてん財団学校賞」受賞
H21.8 NHK学校音楽コンクール「金賞」受賞 関東甲信越コンクール出場	H30.8 NHK学校音楽コンクール「金賞」受賞 TBSこども音楽コンクール「最優秀賞」受賞
H21.10 第35回全日本教育工学研究協議会全国大会茨城つくば大会授業公開 市教委指定「小中一貫教育の研究」(～H23)	H30.11 つくば市教育委員会指定小中一貫教育推進校研究発表会
H22.4 言語教育振興財団研究指定校	R1.7 つくば市環境かるた大会4連覇
H22.6 「エネルギー教育実践」パイロット校指定	R1.8 TBSこども音楽コンクール「最優秀賞」受賞
	R2.11 「人型ロボットペッパー」と学ぶ最先端遠隔防災教育」公開授業

竹園西小学校 <学級数(普26・特支5) 男442 女406 計848>	
H2.4 竹園西小学校開校(竹園東小学校より分離)	H19.11 つくば市教育研究会指定校公開授業(国語科)
H4.4 文部省「国際理解のための活動に関する調査研究」指定校	H20.11 茨城県数学教育研究会後期研究大会授業公開
H4.10 文部省指定「国際理解のための活動に関する調査研究校」研究発表会	H21.4 小中一貫教育開始新校舎6教室増築、屋上緑化
H7.4 文部省帰国子女教育受入推進地域指定協力校 茨城県教育委員会「多様な指導方法の研究」研究指定校	H21.10 第35回全日本教育工学研究協議会全国大会茨城つくば大会授業公開
H10.11 第40回関東ブロック音楽教育研究大会授業公開	H22.4 つくば市教育委員会指定「小中一貫教育の研究」(～H23)
H11.4 文部科学省「先進的ネットワークモデル地域事業」指定校(～H15) 英語活動(1～6年生)開始	H23.4 つくば市教育委員会「小中一貫教育の研究」指定校(～H24) つくば市教育委員会「幼保小連携教育」指定校
H13.4 小中連携教育開始	H23.11 小中一貫教育研究つくば市大会研究指定校
H14.4 5,6年生教科担任制導入 文部科学省保健統計調査指定校	H24.11 つくば市教育委員会指定小中一貫教育研究推進校研究発表会
H15.6 文部科学省「特別支援教育推進体制事業」指定校	H25.11 第8回小中一貫教育全国サミットin つくば授業公開校
H16.4 文部科学省「帰国・外国人児童生徒とともに進める教育の国際化推進地域事業」指定校 国立科学博物館筑波実験植物園「植物園を利用した学校教育のあり方に関する実践研究」指定校 文部科学省「ネットワーク配信コンテンツ活用推進事業」指定校	H26.4 文部科学省調査研究事業「校評価の強化・充実に向けた実践研究」
H18.4 つくば市教育研究会(国語科)研究指定校 竹西幼との幼小連携教育開始	H26.11 第28回関東甲信越地区中学校理科教育研究会授業公開
H18.10 国際理解教育及び帰国外国人児童生徒教育研究協議会授業公開(国際交流会)	H27.11 21世紀の学びを変える ICT を活用した小中一貫教育研究大会授業公開
	H28.9 第60回茨城県児童生徒科学作品展つくば市展「学校賞」受賞
	H28.12 つくば市サイエンスキッズリーグ2016「金賞」受賞
	H30.4 小学校プログラミング教育推進事業協力校
	H30.11 つくば市教育委員会指定小中一貫教育推進校研究発表会
	R1.4 茨城県理科教育担任制モデル校
	R1.7 つくば市環境かるた大会4連覇
	R2 小学校英語教育マネジメント推進校

竹園東中学校 <学級数(普16・特支6) 男291 女263 計554>	
S49.4 竹園東中学校開校(研究学園都市初の中学校)	H22.4 つくば市教育委員会指定小中一貫教育の研究(～H23)
S54.4 茨城県教育委員会「個人差に対応する学習指導法研究」指定校(～S55)	H23.11 小中一貫教育研究つくば市大会研究指定校
S56.4 茨城県教育委員会「表現力の基礎を養う英語の指導法研究」指定校(～S57)	H24.10 全日本合唱コンクール全国大会銀賞受賞
S59.4 日本教育工学「教育機器利用による学習指導法研究」指定校(～S60)	H24.11 つくば市教育委員会指定小中一貫教育研究推進校研究発表会
S60.4 「国際化に対応する英語教育研究」指定校(関ブロ)(～S61)	H25.11 第8回小中一貫教育全国サミットin つくば授業公開校
H2.4 茨城県教育委員会「ボランティア活動研究」指定校(～H4)	H26.2 第30回稲谷教育振興財団理科教育優秀校
H3.4 文部科学省「個性伸長・能力開発を目指す教育課程研究」指定校(～H4)	H26.4 文部科学省調査研究事業「校評価の強化・充実に向けた実践研究」
H8.4 つくば市教育委員会「道徳(特活)」研究指定校(～H9)	H26.5 中谷医工計測技術振興財団教育助成
H9.12 文部科学省「科学技術庁理科教育センター校」指定校	H26.10 関東音楽研究会 茨城大会 研究演奏発表(9年生)
H10. 第40回関東音楽教育研究大会授業公開	H26.11 第28回関東甲信越地区中学校理科教育研究会授業公開
H11.5 第17回関東ブロック中学校社会科教育研究大会授業公開	H27.11 21世紀の学びを変える ICT を活用した小中一貫教育研究大会授業公開
H13.4 小中連携教育開始	H28.8 NHK学校音楽コンクール「金賞」受賞
H15.3 難聴学級「青空学級」の設置	H28.10 学校情報化先進校認定
H18.4 学校図書館資源共有化推進ネットワーク事業モデル校	H29.4 パナソニック教育財団実践研究指定校
H19.4 つくば市教育委員会(教育課程)研究指定校(～H20)	H29.5 国立教育政策研究所実践研究校
H20.4 文部科学省「学校支援地域本部事業」指定校	H30.2 県南農林事務所緑化事業認定校
H21.3 教室棟新築	H30.11 つくば市教育委員会指定小中一貫教育推進校研究発表会
H21.4 小中一貫教育開始	R1.11 教室棟新築
H21.10 第35回全日本教育工学研究協議会全国大会茨城つくば大会授業公開	R1.12 TBSこども音楽コンクール「最優秀賞」受賞、東日本優秀演奏会(合唱)出場



竹園から世界に羽ばたく児童生徒の育成



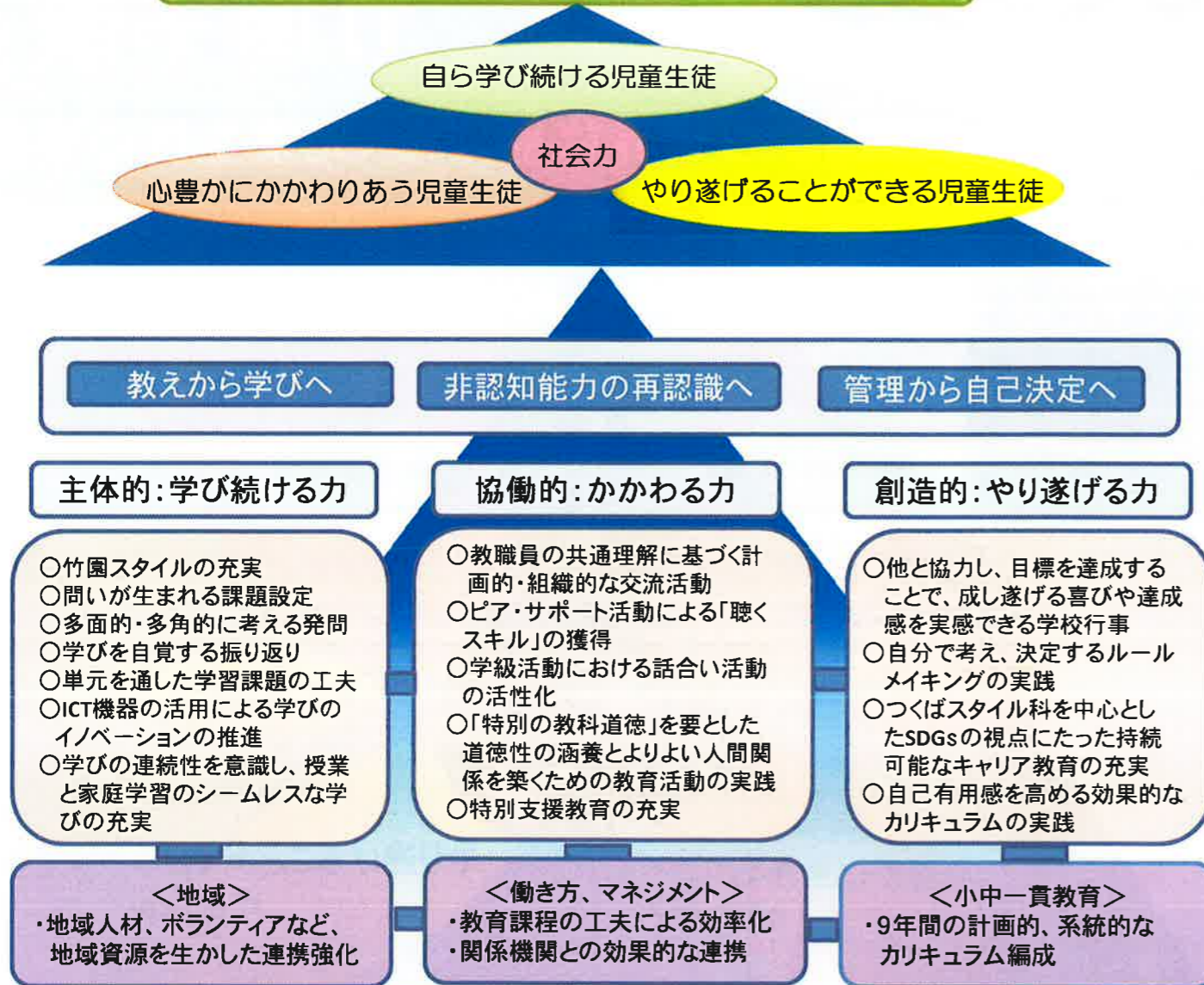
Creative Takezono

竹園東小学校	〒305-0032	つくば市竹園 3-13
		TEL 029-851-2032 FAX 029-851-2254
竹園西小学校	〒305-0032	つくば市竹園 2-19-4
		TEL 029-851-7975 FAX 029-851-2364
竹園東中学校	〒305-0032	つくば市竹園 3-11
		TEL 029-851-3467 FAX 029-851-2385



# 竹園学園グランドデザイン 2023

## 竹園から世界へ羽ばたく児童生徒の育成



### 【研究テーマ】

主体的・協働的・創造的な学びと生活の構築  
～クリティカルな思考を促進する活動を通して～



「竹園スタイルの学び」を深める授業研究



竹園学園から発信するランタンアートプロジェクト



より高い合意形成を目指した話し合い活動



1人1台端末の活用



職場体験報告会(キャリア教育)

## 9年間で目指す竹園の児童生徒像

## CREATIVE TAKEZONO 自主 実践 創造

### 自ら学び続ける

#### 前期(1~4学年)

- ・目標をもって課題を追及する。
- ・ICTを活用し、楽しく学ぶ。



つくばスタイル科(プレゼンテーション)

#### 中期(5~7学年)

- ・共に学び高め合う。
- ・習得した知識・技能を生かし自分の考えを表現する。



小中合同学習会(キャリア教育)

#### 後期(8・9学年)

- ・相互に表現したことをもとに、自分の考えを深める。
- ・好奇心をもって探究する。



対話を取り入れた協働的な学び

### 心豊かにかかわりあう

- ・伝統や文化を大切にし郷土を愛する。
- ・外国語を用いて楽しくコミュニケーションを図る。



外国語活動

- ・異なる文化や考え方を尊重する豊かな国際感覚を養う。
- ・日本人としての自覚をもち世界の人々と親善に努める。



つくばスタイル科(国際交流会)

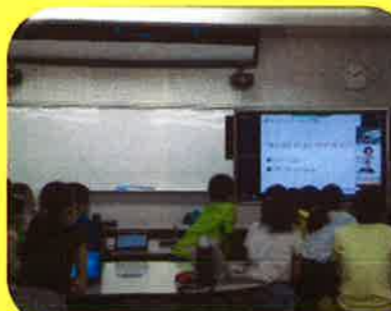
- ・それぞれの個性や立場を尊重しながら自らの思いや願いを表現する。



平和のメッセージ(9学年合唱)

### やり遂げる

- ・自分たちの学校に必要なルールを話し合い、つくり上げる活動



ルールメイキングプロジェクト

- ・SDGsの視点にたった持続可能な活動
- ・国際感覚の醸成



服のチカラプロジェクト

- ・学級や学校の一員としての自覚をもち、互いに協力してよりよい校風を樹立する。



生徒評議員による学校紹介



# 竹園学園 つくば市立竹園東小学校グランドデザイン

みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園

～自己実現できる学校・みんなで支え合い、みんなが生き生きした学校～



竹園学園 ～Creative Takezono～

竹園から世界にはばたく児童生徒の育成



▶ 本校の教育目標

未来をひらき、国際社会で活躍できる児童の育成

▶ 目指す学校像

ひびき合い、高め合う楽しい学校

▶ 学校経営の重点

- 1. 学校組織マネジメントによる運営
- 2. 教育課程の創造
- 3. 同僚性のある教師集団づくり
- ・プロジェクト型組織による学校運営の活性化
- ・小中一貫教育の充実
- ・連携、協働による教育活動の展開
- ・学園・学校評価、教員評価の活用と教育力の向上
- ・「教えから学びへ」の転換を図った授業改善
- ・職員研修の充実による教員の資質能力の向上
- ・つくば市 GIGA スクール構想の推進
- ・働き方改革の推進

▶ 組織目標

- 問いをもって追究し、自分の考えを発信できる授業づくり
- 個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高める学年・学級づくり

▶ 目指す児童像

自ら学び続ける児童

心豊かに関わり合う児童

やり遂げる児童

## まなびプロジェクト

個別最適な学びと協働的な学びの実現

- 「教えから学びへ」の転換を図った授業改善
  - ・竹園スタイルの学びを軸としたクリティカルな思考を促進する活動の推進
  - ・主体的な家庭学習の推進
  - ・校内研修及び学園研修の充実
- ICT教育の推進
  - ・ICT機器を効果的に活用した授業の構築と実践
  - ・児童が有効活用するための支援
  - ・1人1台端末を活用したシームレス教育の推進

【数値目標】

- ・自分から進んで学習課題を解決している (85%) [R4 年度回答 82%]
- ・コンピュータを使った授業は分かりやすい (90%) [R4 年度回答 88%]

## こころプロジェクト

一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実

- 自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進
  - ・コーディネーターを中心とした全教職員の取組による校内支援体制の強化
  - ・特別支援学級・通級指導教室における指導及び通常の学級における指導の充実
- 外国人児童等の多様性への対応
  - ・日本語指導教室での授業の充実
  - ・日本語指導教員と在籍学級担任との綿密な連携

【数値目標】

- ・学校は、子供の気持ちに寄り添いながら教育活動に当たっている (92%) [R4 年度回答 94%]
- ・先生は自分を認め、褒めてくれる (87%) [R4 年度回答 82%]

## あんしんプロジェクト

安心で健やかな学校生活の構築

- 安心な生活基盤の構築
  - ・基本的な生活習慣の推進
  - ・情報の共有によるいじめ、不登校等への迅速、丁寧な対応
  - ・教育相談体制の充実
  - ・児童の心に響く道徳科の授業実践
- 健康・安全に関する自己管理能力の育成
  - ・看護教諭と連携した保健教育の充実
  - ・安全教育の推進と環境の整備
  - ・体力の向上を目指す体育授業の改善
  - ・休み時間の外遊びの励行

【数値目標】

- ・きまりを守って生活している (95%) [R4 年度回答 94%]
- ・安全に気を付けて生活している (95%) [R4 年度回答 95%]

## わかたけプロジェクト

互いに認め合い高め合う集団づくり

- 認め合う学級集団づくり
  - ・「心の居場所」となる学級づくりと互いに認め合う人間関係づくり
  - ・学級や学校生活をよりよくするための話し合い活動の充実
  - ・係活動や委員会活動、実行委員会活動の充実
  - ・児童が自己決定する場の確保
- 異学年児童による関わり合いの推進
  - ・異学年児童班「たてわり班」での交流による温かな集団づくり
  - ・低学年を中心とした保幼小連携事業「わかたけ会」の推進

【数値目標】

- ・学校が楽しい (93%) [R4 年度回答 88%]
- ・友達によさや頑張りを見付けている (92%) [R4 年度回答 87%]

▶ 「地域とともにある学校」づくりの推進

- ・コミュニティ・スクールの導入及び推進
- ・学校支援ボランティアの有効活用
- ・ホームページや各種通信による情報発信





# 2023(令和5)年度竹園学園つくば市立竹園西小学校グランドデザイン

【茨城県】  
すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり  
知徳体の育成  
【つくば市教育大綱】  
一人ひとりが幸せな人生を送ること

## 【竹園学園教育目標】竹園から世界へ羽ばたく児童生徒の育成

【竹園学園(小中一貫教育)9年間で目指す児童生徒像】CREATIVE TAKEZONO 自主 実践 創造  
自ら学び続ける・心豊かにかかわりあう・やり遂げることができる児童生徒  
(社会力の育成)

【つくば市学校教育指導方針】  
みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園～自己実現できる学校・みんなが支え合い、みんなが生き生きとした学校～  
①教えから学びへ  
②管理から自己決定へ  
③認知能力から非認知能力の再構築へ

### 【竹園西小学校教育目標】

## 笑顔がいっぱい楽しい学校

一課題にチャレンジ・よいとこ発見・つながる喜びー

【6年間で目指す児童像】自分の考えを表現できる・よさやがんばりが実感できる・目標に向かってやり抜く

### 【校訓】

なかよく(徳)  
かしこく(知)  
たくましく(体)



## 創造的：目標に向かってやり抜く

- 他者と協力し、目標を共有して体験活動や学校行事に取り組めるようにする。
  - 学級や学校をよりよくするためのルールメイキングを行う。
    - ・児童自身が考え、決定したことは実行する。
  - つくばスタイル科での学びを発信する。(※PBL学習)
    - ・課題発見⇒協働解決⇒STEAMの力⇒相手意識、目的意識をもって発信
- 【数値目標】新しい考えに気付くことができる。 90%(R4 86.4%)

いっしょう  
けんめい

※PBL学習とは  
Project Based Learning  
の略  
課題解決に向けたプロジェクトを設定し、チームで児童生徒自らが調べ、考え、議論し、問題を解決していく学習のこと

## 主体的：自分の考えを表現できる

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「竹園スタイルの学び」による授業改善
    - ・問いから課題を生み出す
    - ・対話が生まれる発問
    - ・クリティカルな思考を生み出す活動
    - ・ICT活用と教科の見方・考え方の視点からの振り返り
  - 単元を通じた探究的な学びと見取り
    - ・単元を通して身に付けたい3つの資質能力(ゴール)の明確化
    - ・新たにチャレンジできる課題の準備
    - ・ICT・新聞・本の積極的活用
- 【数値目標】自分の考えを相手に分かるように伝えられる85%(79.8%)  
クリティカルな思考を促進する授業展開 90%(76.5%)

うんと  
考える

## 協働的：よさやがんばりが実感できる

- 自分から進んで相手に伝わるあいさつをする。
  - 間違いや失敗から学べる学級経営
    - ・聴き合い、「教えて」と言える
    - ・よいこととして認め合う場の設定
    - ・スモール・ステップの目標づくりと成功体験につながる支援
  - 他者共に異なる意見や多様性の尊重
    - ・話し合い活動の位置付け
    - ・縦割り班活動での異学年交流・居住地校交流における体験
  - いじめの未然防止
    - ・児童による課題解決のための話し合い、合意形成、意思決定
- 【数値目標】自分から進んであいさつをしている 90%(85%)  
友達のよさやがんばりをみつけている 95%(89.2%)  
いじめはどんなことがあってもいけないことだ 100%(93%)

あたたかい  
あいさつ・言葉

## 学びの連続性を確保する小中一貫教育

- 9年間の系統表に基づく指導改善
  - 9年間の学びの蓄積・つながりを踏まえたキャリア教育
    - ・ICT、「いばらきキャリア・パスポート」の活用
  - 学園企画会・研修会での「クリティカルな思考」理解の深化
  - 学園保健委員会での共通課題とその対策
  - 想定外を想定した避難訓練の実施
- 【数値目標】9年間の学びの連続性を意識している100%(88.2%)

## 自立と社会参加に向けた特別支援教育

- 自己のもつ能力や可能性の伸長
    - ・一人一人の教育的ニーズの把握・情報共有
  - ユニバーサルデザインの視点による授業・環境づくり
  - 保幼小中及び関係機関等との連携
    - ・個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成と活用
    - ・保護者との定期的な面談の実施
- 【数値目標】心配なことがあったら相談できる 100%(94.1%)

### 目指す教師像

- 学び続ける
- 人間性豊か、使命感をもつ
- 他者と協働し目標の具現化を図る

### 目指す学校像

- みんなが生き生き支え合える
- 安全・安心で居心地がいい
- 信頼できる

## 社会に関わられた教育課程 安全・安心な学校づくり

- OPTAボランティアや外部講師のリスト作成・活用
  - コミュニティ・スクールでのビジョンの共有、地域との連携・協働
  - スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの協力体制
- 【数値目標】地域資源や人材を活用した教育活動 70%(58.8%)

## 実行性ある働き方改革

- 週2日5時間の週時程・児童と向き合う時間の確保
  - 得意な分野で学校運営参画意識の向上
    - ・教職員との対話(働きやすさ×働きがい)で幸福度アップ
- 【数値目標】時間外勤務時間月4.5時間以内 90%(80%)

### 【研究テーマ】

主体的・協働的・創造的な学びと生活の構築  
ークリティカルな思考を促進する活動を通してー

### 【組織目標】

- 1 学んだことを基に自分の考えを表現できる授業づくり
- 2 互いのよさやがんばりが実感できる学級づくり
- 3 持ち味を生かして協力し合う学校づくり

### 【本校の課題】R4年度学校評価アンケート達成肯定評価80%以下の項目

- 休み時間はからだを動かしている 児童71.6%(R3 73.8%) 保護者83.1%(79.2%) 教職員79.4%(66.7%)
- 自分の考えを相手に分かるように伝えられる 児童79.8%(82.2%) 保護者74.1%(71.3%) 教職員85.3%(97.0%)
- クリティカルな思考を生み出す授業展開をしている 教職員76.5%(69.7%)
- 地域の資源や人材を活用している 教職員58.8%(39.3%)
- 昨年度より、勤務時間の在校時間が短くなっている 教職員67.6%(96.9%) R5年度時間外勤務時間45時間以内 4月34.1% 5月52.3%

【本校のよさ】★授業力向上 教職員94.1%(81.8%) ★学校の勉強は分かる 児童96.8%(95.4%) ★学校は楽しい 児童91.3%(94.1%)





竹園学園

Creative Takezono  
竹園から世界へ羽ばたく児童生徒の育成

県の方針

すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり

みんなが幸せを実感できる  
学園・学校・幼稚園

市の方針

学校教育目標

国際社会に貢献できる人間力を育む教育の創造

自主  
実践  
創造

組織目標

・主体性を育む教育活動の充実  
・人と心豊かに関わる力の育成  
・ライフワークバランスを重視した働き方改革の推進

教えから  
学びへ

非認知能力の  
再認識へ

管理から  
自己決定へ

生徒主体の伝統を守る「TAKEZONO プライド」= 自主・自律・自治

主体的に学び続ける  
生徒の育成

- ①問いが生まれる課題設定による主体的な学びの推進
- ②仲間との対話による協働的な学びの推進
- ③クリティカルな思考を促す創造的な学びの推進
- ④ICTの効果的な活用による個別最適な学びの推進
- ⑤メンターグループによる授業研究
- ⑥学園合同による相互授業参観・授業評価
- ⑦外部人材、地域資源の積極的な活用

思いやりのある  
生徒の育成

- ①人と心豊かに関わる力を育む学校行事の充実
- ②考え、議論する道徳の授業の推進
- ③相手をリスペクトする気持ちを育てるピア・サポート活動
- ④自己有用感を高める小中一貫交流活動
- ⑤体験活動やボランティア活動の推進
- ⑥生徒や保護者の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
- ⑦人権意識を育てる環境整備

主体的に行動できる  
生徒の育成

- ①自己決定の精神を大切に生徒指導
- ②特別活動の充実と進化
- ③自分たちの課題を主体的に解決する学級活動の活性化（ルールメイキング）
- ④9年間の連続性を生かした規範意識の醸成
- ⑤つくばスタイル科の充実によるつくば次世代型スキルの育成
- ⑥キャリア・パスポートを活用したキャリア教育の充実
- ⑦自己判断力を育てる防災教育、交通安全教育の推進

研究主題

主体的・協働的・創造的な学びと生活の構築  
～クリティカルな思考を促進する活動を通して～

- 地域、保護者との連携による学校づくり  
～コミュニティ・スクールの推進～
- 働き方改革の推進による効果的な教育活動の展開

## つくば市コミュニティ・スクール推進会議開催要項

### (開催)

第1条 教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第47条の5に規定する学校運営協議会の設置及び運営に関する検討を行うため、指定する小中一貫型小学校・中学校（つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則（昭和62年つくば市教育委員会規則第8号）第5条に規定する小中一貫型小学校・中学校及び義務教育学校において、コミュニティ・スクール推進会議（以下「推進会議」という。）を開催する。

### (定義)

第2条 この要項において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) コミュニティ・スクール 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に規定する学校運営協議会をいう。
- (2) 学園等 つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則第5条に規定する小中一貫型小学校・中学校及び義務教育学校をいう。

### (検討事項)

第3条 推進会議は、次に掲げる事項を検討する。

- (1) コミュニティ・スクールの設置及び運営に関する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、コミュニティ・スクールの推進に関し必要な事項

### (構成)

第4条 推進会議は、学園等ごとに、次に掲げる者のうちから、教育委員会が選任した者30人以内をもって構成する。

- (1) 当該学園等に在籍する児童又は生徒の保護者のうちから、学校長が推薦する者
  - (2) 学園等の所在する地域の住民のうちから、学校長が推薦する者
  - (3) 各学校長並びにその他の教職員
  - (4) 学識経験者
  - (5) 関係行政機関の職員
  - (6) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が適当と認める者
- (開催期間)

第5条 推進会議は、学園等ごとにおおむね1年間開催する。ただし、コミュニティ・スクールを設置したときは、その日の前までとする。

(座長等)

第6条 推進会議に座長及び副座長を置く。

- 2 座長及び副座長は、構成員の互選により定める。
- 3 副座長は、座長に事故があるときは、座長となる。

(庶務)

第7条 推進会議の庶務は、学園等及び教育局生涯学習推進課において処理する。

(補則)

第8条 この要項に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要項は、令和4年5月1日から施行する。



## 会 議 録

会議の名称		竹園学園第2回コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和5年10月16日（月）開会 10：00 閉会 11：30		
開催場所		つくば市立竹園東小学校スマイルルーム		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	岡本智周、中嶋信美、長谷川聖修、窪庭隆、福田幸寛、 今井健之、坂入善晴、倉田廣之、福田博之、後藤秀一 辻武晴、野尻和子、岩村一代、稲垣和希、鈴木敏一 竹園東中学校：校長 茂在哲司、教頭 渡辺邦広、 教 務 主 任：佐藤彩子 竹園東小学校：校長 皆川正美、教頭 田崎浩美、岡宮敏 教 務 主 任：小松有実 竹園西小学校：校長 柳下英子 副校長 大山英樹 教 頭：永井明子 教 務 主 任：吉村哲一		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課長補佐：色川純子 社 会 教 育 主 事：村上和宏 地域連携教育指導員：小島健 酒井和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		1 竹園学園教育活動について 2 熟議「竹園学園と地域の協働体制作りについて」 3 授業参観		
会議録署名人	小松 有実	確定年月日	年 月 日	

会議 次第	1	開会
	2	挨拶
	3	第1回推進会議の振り返り
	4	協議
		(1)竹園学園の教育活動について
		(2)熟議「竹園学園と地域の協働体制作りについて」
	5	その他
6	閉会	
7	竹園東小での授業参観	

<審議内容>

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 第1回推進会議の振り返り
- 4 協議
  - (1) 竹園学園の教育活動について  
各校教務主任からの報告  
竹園東小 → 竹園西小 → 竹園東中
  - (2) 熟議「竹園学園と地域の協働体制作りについて」
    - ・各グループでの熟議30分間
    - ・グループごとの発表
    - ① A班  
学校の環境整備等で協力ができないか  
地域イベントへの参加・・・自治会等にも情報の周知ができると良い。
    - ② B班  
子供たちの発想で動いていけるような仕組みをつくりたい。年を経るとよくわかる。  
地域・学校などお互いがコミュニケーションを取り合ったり、話合いの場があったりすると良いのでは。
    - ③ C班  
幼小中高が連携できると良い。
    - ④ D班  
「つながり」を重視したい。学校の校長・教頭は短期間で変わってしまうので、地域を集約する人物として、「リスト」をうまく活用できないか。即戦力となる人物、または「市のリスト」を活用していけると良い。

【質疑応答】

- ・幼小中高の関係者が一堂に会して子供たちを育てていけるようになると良い。高校の職員が、中学校、小学校の授業を参観することができ、とても良かった。

った。

- ・地域とつながりたいと思っているボランティアに対し、その「メリット」を打ち出さないと人は集まらない。お金や対価だけでなく、やりがいなどが挙げられる。様々なスポーツ団体が地域をつなぐイベントを行っている。
- ・竹園地区は、東日本大震災と切っても切れない関係がある。「防災」は地域への切り込み口として最適である。現役区会長などを集めて、どのようなニーズを求めているか確かめることも必要。
- ・「1次避難場所としての学校」について知る必要がある。
- ・竹園地区に20年住んでいるが、公務員住宅が整理・統合され、新しく住民になった人が多く、区会がなくなっている。新しい宅地のところは、区会はないので、学校からいろいろな情報を出してもらえるとありがたい。

## 5 その他

第3回コミュニティ・スクール推進会議は令和6年2月14日（水）10時から、会場は竹園西小学校を予定。

## 6 閉会

本日の協議の内容は以上。なお本日の会議の様子や写真について、つくば市ホームページへの掲載を予定。

## 7 竹園東小での授業参観

この後、3校時の授業を参観後、解散。

令和5年度 第2回竹園学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和5年10月16日（月）

10:00～

場所：竹園東小学校 スマイルルーム

次 第

1 開 会

- (1) 座長挨拶
- (2) 学園長挨拶

2 協 議

- (1) 竹園学園の教育活動について
- (2) 竹園学園と地域の協働体制作りについて

3 そ の 他

推進会議の今後の予定について

4 閉 会

5 授業参観

令和5年度 竹園学園コミュニティ・スクール推進会議・協議会  
 (第2回:10月16日 月曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職	出欠席
5	(2) 地域住民	岡本 智周	おかもと ともちか	R4竹園東中学校評議員	A
7	(2) 地域住民	中嶋 信美	なかじま のぶよし	元竹園東小PTA会長 元竹園東中PTA会長 R4竹園東中学校評議員 地域学校協働活動推進員	A
13	(3) 各小学校長・教職員	皆川 正美	みなかわ まさみ	竹園東小学校長	A
18	(3) 各小学校長・教職員	大山 英樹	おおやま ひでき	竹園西小学校副校長	A
23	(4) 学識経験者	長谷川 聖修	はせがわ きよなお	筑波大学体育系 名誉教授	A
25	(5) 関係行政機関の職員	窪庭 隆	くぼにわ たかし	竹園西児童館長 R4竹園西小学校評議員	A
2	(1) 児童・生徒の保護者	福田 幸寛	ふくだ ゆきひろ	竹園東小PTA会長	B
8	(2) 地域住民	今井 健之	いまい けんし	防災士(茨城県防災士協会)	B
10	(3) 各小学校長・教職員	茂在 哲司	もざい てつじ	竹園東中学校長	B
19	(3) 各小学校長・教職員	永井 明子	ながい あきこ	竹園西小学校教頭	B
24	(5) 関係行政機関の職員	坂入 善晴	さかいり よしはる	竹園東児童館長	B
26	(6) 教育委員会が適当と認める者	倉田 廣之	くらた ひろゆき	つくば市教育長職務代理者 竹園学園地域学校協働活動推進員	B
1	(1) 児童・生徒の保護者	福田 博之	ふくだ ひろゆき	竹園東中学校PTA共同代表	C
9	(2) 地域住民	後藤 秀一	ごとう しゅういち	R4竹園西小学校評議員 竹園学園地域学校協働活動推進員	C
11	(3) 各小学校長・教職員	渡辺 邦広	わたなべ くにひろ	竹園東中学校教頭	C
20	(3) 各小学校長・教職員	吉村 哲一	よしむら のりかず	竹園西小学校教務主任	C
28	(6) 教育委員会が適当と認める者	辻 武晴	つじ たけはる	竹園高等学校長	C
29	(6) 教育委員会が適当と認める者	野尻 和子	のじり かずこ	竹園西幼稚園長 R4竹園西小学校評議員	C
6	(2) 地域住民	岩村 一代	いわむら かずよ	R4竹園東中学校評議員	D
12	(3) 各小学校長・教職員	佐藤 彩子	さとう あやこ	竹園東中学校教務主任	D
15	(3) 各小学校長・教職員	岡宮 敏	おかみや さとし	竹園東小学校教頭	D
17	(3) 各小学校長・教職員	柳下 英子	やぎした ひでこ	竹園西小学校長	D
21	(4) 学識経験者	稲垣 和希	いながき かずき	筑波大学アスレティック・パートメント	D
27	(6) 教育委員会が適当と認める者	鈴木 敏一	すずき としいち	元大曾根小学校長 竹園東幼稚園長	D
3	(1) 児童・生徒の保護者	松本 祐輔	まつもと ゆうすけ	竹園こどもまつり実行委員長	欠席
4	(1) 児童・生徒の保護者	島名 勝利	しまな かつし	竹園西小学校PTA共同代表	欠席
22	(4) 学識経験者	浜田 博文	はまだ ひろふみ	筑波大学教授	欠席
14	(3) 各小学校長・教職員	田崎 浩美	たさき ひろみ	竹園東小学校教頭	進行
16	(3) 各小学校長・教職員	小松 有実	こまつ ゆみ	竹園東小学校教務主任	記録

副座長	座長	副座長
-----	----	-----

モニター
PC

岡本委員	大山委員
中嶋委員	長谷川委員
皆川委員	窪庭委員

福田(幸)委員	永井委員
今井委員	坂入委員
茂在委員	倉田委員

記録者席
------

福田(博)委員	吉村委員
後藤委員	辻委員
渡辺委員	野尻委員

岩村委員	柳下委員
佐藤委員	稲垣委員
岡宮委員	鈴木委員

傍聴席

入口

---

【欠席者】 松本祐輔 竹園こどもまつり実行委員長  
 島名勝利 竹園西小学校PTA共同代表  
 浜田博文 筑波大学教授



# 竹園学園だより

竹園東中学校・竹園東小学校・竹園西小学校

令和5年9月19日

文責：校長 茂在哲司  
竹園東中 皆川正美  
竹園東小 柳下英子  
竹園西小

**竹園学園教育目標：竹園から世界へ羽ばたく児童生徒の育成**

竹園学園長を務めております竹園東中学校長の茂在哲司（もざいてつじ）と申します。

さて、つくば市ではコミュニティ・スクールを令和7年度にすべての学園で導入する計画を推進しています。竹園学園では、令和5年度は準備段階としてのコミュニティ・スクールが開催されました。そして、令和6年度には、本格的に導入することになりました。コミュニティ・スクールとは、学校、保護者、地域の皆さんが、「どんな子供を育てていくのか」、「そのために学校、保護者、地域がどのように関わっていくのか」等を考え、知恵を出し合い、目指す姿を共有しながら協働していくためのしくみです。

竹園東小、竹園西小、竹園東中の各学校の推進委員を中心に、年3回話し合いを実施する予定です。早速、今年度第1回目の話し合いを6月に開催いたしました。話し合いの中で、地域に情報を発信することが地域とともにある学校づくりの第一歩ではないかということになり、この「竹園学園だより」を発行する運びとなりました。各学校の様子を感じとっていただき、地域とともに成長していく竹園学園を目指していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## ☆竹園東中学校☆

### <創明祭・50周年記念事業の実施>

9月8日、11日に創明祭を行いました。実行委員を中心に企画・運営を行い、クラス企画やステージ発表を行いました。限られた時間の中で主体的に取り組み、楽しく学びのある行事となりました。また、本校創立

50周年記念事業の1つの「フォトモザイク」の完成披露式も行われ、多くの保護者の方が参観されました。

<今後の予定> 10月7日（土）竹園こどもまつり（オーケストラ部の参加）

地域窓口担当 教頭 渡辺 邦広 Tel：029-851-3467 メール：tahij01@tkb.ed.jp



## ☆竹園東小学校☆

### <竹園東小学校 合唱部>

本校合唱部がNHK全国学校音楽コンクールで銅賞に入賞しました。また、TBS こども音楽コンクールでは最優秀賞に輝き、東日本優秀演奏発表会への出場を手にしました。今後も練習を重ね、さらに上位を目指します。

### <読み聞かせ>

1時間目が始まる前、保護者の方々のボランティアによる読み聞かせに御協力いただいています。本が好きで心豊かな児童育成を目指しています。

### <今後の予定>

10月7日（土）竹園こどもまつり

地域窓口担当 教頭 田崎 浩美 Tel：029-851-2032 メール：tahie01@tkb.ed.jp



## ☆竹園西小学校☆

### <委員会活動の取り組み>

委員会活動では、よりよい学校を目指し5・6年生の児童が中心となって活動しています。中央委員会では、「幸せな学校プロジェクト」を立ち上げ、全校児童にアンケートを取りました。今後の計画に生かす計画です。

### <ゆめの木団活動（縦割活動）>

1年生から6年生の異学年集団で、月1回みんなでゲームをしたり、奉仕作業をしたりしています。

### <今後の予定>

・地域に関係ある行事

10月26日（木）TAKENISHI 体育 day（運動会）

地域窓口担当 副校長 大山 英樹 Tel：029-851-7975 メール：



ゆめの木団活動様子



アンケート結果の掲示

## 会 議 録

会議の名称		令和6年度第3回竹園学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和6年2月14日（月）開会 10：00 閉会 11：30		
開催場所		つくば市立竹園西小学校 CAI 室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	中嶋信美、長谷川聖修、窪庭隆、福田幸寛 坂入善晴、倉田廣之、福田博之、松本祐輔 野尻和子、岩村一代、稲垣和希、鈴木敏一 島名勝利、浜田博文 竹園東中学校：校長 茂在哲司、教頭 渡辺邦広、 教務主任：佐藤彩子 竹園東小学校：校長 皆川正美、教頭 田崎浩美、岡宮敏 教務主任：小松有実 竹園西小学校：校長 柳下英子 副校長 大山英樹 教頭：永井明子 教務主任：吉村哲一		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課長：澤頭由紀子 係長：飯島遊 社会教育主事：村上和宏 地域連携教育指導員：小島健 酒井和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	2人
非公開の場合はその理由				
議題		「CS 実施に向けた今後の取組と協力体制づくり（地域防災を含む）」		
会議録署名人	吉村 哲一	確定年月日	年	月 日



会議 次第	1	開会 挨拶 ・鈴木座長より ・茂在学園長より 第2回推進会議の振り返り
	2	協議 (1)本年度の教育活動の振り返りと今後に向けて（学校評価から） (2)熟議「CS実施に向けた今後の取組と協働体制づくりについて」
	3	その他 推進会議の今後の予定について
	4	閉会

<審議内容>

2 協議

(1) 竹園学園の教育活動の振り返りについて

各校教頭からの報告（学校評価アンケートより）

竹園東小 → 竹園西小 → 竹園東中

- ・ 家族や友達、先生へのあいさつを自分からできる子に育てたい
- ・ 地域の方へのあいさつの積極性が比較的低い 地域とのつながりに課題
- ・ 地域の行事参加65% 学校がアンテナを広げ情報発信をする必要がある
- ・ 「学校生活に満足」9割以上
- ・ 「9年間の学びの連続性」をより明確にしていく必要がある  
（小中・小小・保幼小などの接続を意識できる機会の充実も）
- ・ 地域資源や地域人材について次年度以降もさらなる活用を検討
- ・ 「クリティカルな思考を促す活動」さらなる授業改善を図る必要がある
- ・ 学校ホームページを通してさらに発信していく必要がある
- ・ 「元気に体を動かしている」児童の割合の上昇
- ・ 小学校における教科担任制 わかりやすい授業に向けた研修の必要性について
- ・ 発信力、主体性、自治能力を教育活動全体で高めていくこと

(2) 熟議「CS実施に向けた今後の取組と協働体制づくりについて」

- ・ 各グループでの熟議30分間
- ・ グループごとの発表

① A班

防災、通学路の安全、フリースクール 人材の確保

⇒運動会の中に地域の方が参加できるものなどを入れるなどの工夫  
学校が求める人材の情報を発信していく必要性について

② B班

学校の安全・安心 下校後・災害時⇒地域での防災訓練

自治会加入率30%、子供会参加率40%の現状

小さなまとまりでの話し合いの場と引継ぎ

児童生徒を介して地域行事をつくる、コンビニ・店との連携

③ C班

防犯・防災が最優先 子どもをどう守るか

つながりが希薄である地域性の中で個をつなぐ案として地域の防災訓練の実施（回覧板で周知）

学校に協力いただける団体の把握 学校の要望を知る機会が必要

④ D班

大震災を想定しての訓練実施・防災マップの確認が必要

災害の専門家の活用（対策等のアドバイス）

児童生徒の防災に関する学びを実際の生活場面に生かす

（柳下委員）

- ・地域連携防災会議 令和6年3月4日（月）に竹園西小学校で実施予定
- ・令和7年度つくば市においてICT教育全国大会を予定
- ・竹園学園が代表として研究を全国発信（幼・小・中・高合同）

3 今後の予定

（事務局から）

令和6年度コミュニティ・スクール協議会 来年度委員の選出等について

4 閉会

本日の協議の内容は以上。なお、本日の会議の様子や写真について、つくば市ホームページへの掲載を予定。

令和5年度 第3回竹園学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和6年2月14日（水）

10:00～

場所：竹園西小学校 CAI室

次 第

1 開 会

- (1) 座長挨拶
- (2) 学園長挨拶

2 協 議

- (1) 本年度の教育活動の振り返りと今後に向けて（学校評価から）
- (2) 熟議テーマ

「CS実施に向けた今後の取り組みと協働体制づくり（地域防災を含む）」

3 そ の 他

推進会議の今後の予定について

4 閉 会

5 授業参観

ホワイトボード

副座長（松本委員）	座長（鈴木委員）	副座長（後藤委員）
-----------	----------	-----------

電子黒板

福田(博)委員 岡宮委員  
 松本委員 **A** 岩村委員  
 稲垣委員 辻委員  
 佐藤委員

浜田委員 鈴木委員  
 中嶋委員 **B** 野尻委員  
 柳下委員 田崎委員

記録

福田(幸)委員 永井委員  
 長谷川委員 **C** 窪庭委員  
 茂在委員 小松委員

後藤委員 島名委員  
 皆川委員 **D** 坂入委員  
 倉田委員 渡辺委員

進行

傍聴席 1

古久保 様

傍聴席 2

川村 様

生涯学習  
推進課

澤頭課長 他4名

受付  
資料

※全員出席の場合です。

人数によって多少変更となる場合があります。

## 会 議 録

会議の名称		竹園学園第2回コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和5年10月16日(月) 開会 10:00 閉会 11:30		
開催場所		つくば市立竹園東小学校スマイルルーム		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	岡本智周、中嶋信美、長谷川聖修、窪庭隆、福田幸寛、 今井健之、坂入善晴、倉田廣之、福田博之、後藤秀一 辻武晴、野尻和子、岩村一代、稲垣和希、鈴木敏一  竹園東中学校：校長 茂在哲司、教頭 渡辺邦広、 教務主任：佐藤彩子  竹園東小学校：校長 皆川正美、教頭 田崎浩美、岡宮敏 教務主任：小松有実  竹園西小学校：校長 柳下英子 副校長 大山英樹 教 頭 : 永井明子 教務主任：吉村哲一		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課長補佐：色川純子 社会教育主事：村上和宏 地域連携教育指導員：小島健 酒井和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		1. 竹園学園教育活動について 2. 熟議「竹園学園と地域の協働体制作りについて」 3. 授業参観		
会議録署名人	小松 有実	確定年月日	年 月 日	

会議 次第	1	開会
	2	挨拶
	3	第1回推進会議の振り返り
	4	協議
		(1)竹園学園の教育活動について
		(2)熟議「竹園学園と地域の協働体制作りについて」
	(3)その他	
5	閉会	
6	竹園東小での授業参観	

< 審議内容 >

6 協議

(1) 竹園学園の教育活動について

各校教務主任からの報告

竹園東小 → 竹園西小 → 竹園東中

(2) 熟議「竹園学園と地域の協働体制作りについて」

・各グループでの熟議30分間

・グループごとの発表

① A班

学校の環境整備等で協力ができないか

地域イベントへの参加・・・自治会等にも情報の周知ができると良い。

② B班

子供たちの発想で動いていけるような仕組みをつくりたい。年を経るとよくわかる。

地域・学校などお互いがコミュニケーションを取り合ったり、話合いの場があったりするとよいのでは。

③ C班

幼小中高がよりよく連携していけるとよい。

④ D班

「つながり」を重視したい。学校の校長・教頭は短期間で変わってしまうので、地域を集約する人物として、「リスト」をうまく活用できないか。即戦力となる人物、または「市のリスト」を活用していけると良い。

【質疑応答】

・幼小中高の関係者が一堂に会して子供たちを育てていけるようになると良い。高校の職員が、中学校、小学校の授業を参観することができ、とてもよかった。

・地域とつながりたいと思っているボランティアに対し、その「メリット」を打ち出さないと人は集まらない。お金や対価だけでなく、やりがいなどが挙

げられる。様々なスポーツ団体が地域をつなぐイベントを行っている。

- ・竹園地区は、東日本大震災と切っても切れない関係がある。「防災」は地域への切り込み口として最適である。現役区会長などを集めて、どのようなニーズを求めているか確かめることも必要では。
- ・「1次避難場所としての学校」について知る必要がある。
- ・竹園地区に20年住んでいるが、公務員住宅が整理・統合され、新しく住民になった人が多く、区会がなくなっている。新しい宅地のところは、区会はないので、学校からいろいろな情報を出してもらえるとありがたい。

#### (4) その他

第3回コミュニティ・スクール推進会議は令和6年2月14日(水)10時から、会場は竹園西小学校を予定。

#### 7 閉会

本日の協議の内容は以上。なお本日の会議の様子や写真について、つくば市ホームページへの掲載を予定。

この後、3校時の授業を参観後、解散。